

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 9月 2日 更新

事務事業名		井戸湧水復活再生公園管理事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	政策部	課長名	内田 秀一郎	
	施策	9	住環境の充実				所属課	企画課	担当者名	宮本 拓摩	
	基本事業	26	公園など身近な住環境の整備				所属班	政策企画班	(内線)	1254	
予算科目		会計一般	款2	項1	目11	事業連番10149	法令根拠				
終了、開始年度		☒ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)			
							成果優先度評価結果 : ⑩ コスト削減優先度評価結果 : ⑥				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成11年度旧西合志町が井戸湧水復活再生事業(環境保全施設整備費補助金)として整備に取り組んだ緑地(2箇所:城区・江良区内)について、都市公園としての位置付けが難しいため、企画課で所管している。整備の際の地元との協議で日常管理は地元区(江良区、城区)で行ない、規模の大きな改修や補修は市が対応する形態で管理を行なうという事業である。現地は市有地であり、平成18年度、長雨によって江良地区の観音の泉水公園の一部と、公園に隣接する民地の土手が崩壊したため、隣接民地を市で購入し、建設課の市道災害復旧事業として公園斜面の一体的な復旧を行なった。また、城区の下井川湧水公園は、平成18年度に地元篤志者による空洞ブロック積み等の水路整備が実施された。平成20年2月、江良区(観音の泉水公園)から、公園西側土手を補強するよう要望があり、災害の未然防止のため、平成20年度で工法の検討や関係地権者との協議等をすすめ、平成21年度で補強を実施した。さらに、城区の下井川湧水公園の日常管理が届かず住民からの苦情があり、地元管理をしやすくするため、平成22年度より城区と管理に関する委託契約を締結した。平成25年度からは当該事務事業の担当課を企画課から都市計画課へ移管する。
【業務の流れ】	通常の維持管理は、地元区(城区、江良区)で行なうため、定期的に現地の管理状況を確認し、大規模な改修や補修については、公共事業として市で対応する。状況に応じて関係区や関係各課と連携し効率的に実施する。
【主な予算費目】	委託料(城区 37,000円/年間)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・城区の下井川公園の管理について、住民から、除草等の管理がなされず、景観が悪いのもっと市が指導して管理を徹底してほしいとの意見があった。 ・城区から、公園管理についての要望があり、地元区が管理を行なうので必要経費を市から負担してほしいとの意見があった。 ・平成24年8月、城区長の要望書に対応し「禁漁」看板を設置した。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO) ・江良区においては従来どおり通常の維持管理を行なった。 ・城区においては日常管理のあり方について地元区と協議を行ない、平成22年度から地元区が管理を行ない、市が管理委託料を支払うこととした。		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・江良区、城区ともに昨年同様の維持管理を行なう。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 管理のために地元区や関係者と調整を行った回数	回	(事業番号10140) 都市公園地域型管理事業への統合による減。
イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
井戸湧水復活再生事業により整備した公園(2箇所)		→ ア 関係公園数
		イ 箇所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
適正に管理される。		→ ア 管理に対する苦情、要望等に対応できた割合
		イ %
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
管理に対する苦情、要望等に対応できた割合を指標にすることで、地元及び市で管理する「適正」さが測れると考えた。		0

(2) 各指標・総事業費の推移			単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	アイ	回		4	3	3	1				
② 対象指標	アイ	箇所		2	2	2	2				
③ 成果指標	アイ	%		100	100	100	100				
投資 入費 量	事業 内訳	財源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	37	1,165	37	37				
		(A) 事業費計	千円	37	1,165	37	37				
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0				
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0				
		人件 費	正規職員従事人数	人	2	5	2	4			
	延べ業務時間		時間	83	100	20	32				
	(B)人件費計		千円	341	403	80	130				
トータルコスト(A)+(B)			千円	378	1,568	117	167				

事務事業名	井戸湧水復活再生公園管理事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 江良地区、城地区とも、補強工事の完了により通常の管理も実施しやすくなり、地元管理体制が整うことで目標達成の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 通常の維持管理を地元区で行ない、大規模な補修等を市が実施することで管理していく事業であり、成果としての向上余地はないが、現状の成果水準は維持していく必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 将来に亘って安全に利用できる環境整備が前提となるが、他の公園とともに一元的に管理を行なう方法が考えられる。公園として管理するには、利用者の安全確保と良好に維持管理できることが前提であり、そのための環境整備には莫大な費用を要するため、費用対効果の面から、現段階での統廃合はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現時点で維持管理に対する経費は必要最小限である。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の維持管理（地元管理）状況の確認や相応の人的対応が必要である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市有地の適正な維持管理を市が行なうことは当然で、形態としては公園であり、不特定多数の利用を可能としているため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 現状でも地元と市との管理運営に対する役割を分担し実施している。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・江良地区については、崖地の補強工事の完了によって、より地元での管理がしやすく、より安全な公園として改善が図られた。
・城地区については、湧水池部分の補修や転落防止柵設置工事を行ない、地元区の管理体制としたので、より安全な公園としての改善が図られた。
・平成24年8月、区長からの「禁漁表示」設置要望に対応した。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
						コスト																						
						削減	維持	増加																				
				成果	向上																							
					維持																							
低下																												
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												